



# 内閣官房 内閣情報調査室 採用案内 2022

CABINET INTELLIGENCE  
and RESEARCH OFFICE

# What is Intelligence? 2022 RECRUIT BOOK

## 内閣官房内閣情報調査室

〒100-8968 東京都千代田区永田町 1-6-1 内閣府庁舎 6階

TEL. 03 (5253) 2107 (採用専用)

TEL. 03 (3581) 5083 (直通)

### 【丸ノ内線・千代田線】

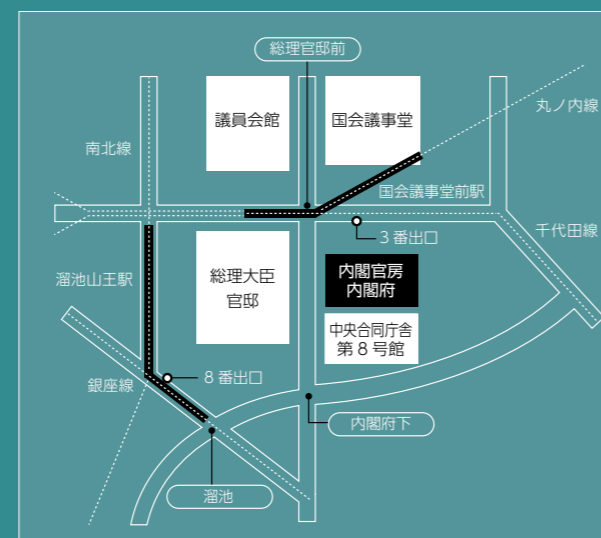
国会議事堂前駅 3番出口 徒歩5分

### 【銀座線】

溜池山王駅 8番出口 徒歩10分

【南北線 溜池山王駅(千代田線ホム一ム経由)】

国会議事堂前駅 3番出口 徒歩5分



## 1 Message

情報の世界を志す皆さんへ

## 3 What is Intelligence?

インテリジェンスとは何か

内閣情報調査室の業務について

- 5 内閣の総合戦略機能、内閣官房
- 6 内閣情報調査室の組織体制
- 7 総理の目と耳としての役割
- 8 「インテリジェンス」を紡ぐ
- 9 内閣情報調査室の業務
- 13 内閣衛星情報センターの業務

## 17 キャリアと未来

内閣情報調査室職員の声

- 19 職員から皆さんへ
- 21 スペシャルトーク対談
- 23 国際系職員・技術系職員の働き方
- 25 若手職員に聞きました
- 27 キャリアステップ
- 29 両立支援(ワークライフバランス)制度
- 30 待遇・制度、採用について
- 31 2022年度採用スケジュール
- 32 内閣情報調査室の歴史

# Message

情報の世界を志す皆さんへ

新型コロナウイルスが世界を一変させて二年、ロシアによるウクライナ侵攻は、国際秩序を揺るがす一大事となった。我が国を取り巻く安全保障環境は、常に変化し、複雑化している。北朝鮮は「感染者ゼロ」を主張しながら、弾道ミサイル開発を続ける一方、中国は「ゼロコロナ」政策を維持しながら国際的な影響力拡大を図っている。

このような情勢下で、内閣情報調査室が果たすべき役割は、内閣の重要政策を情報面から支えることである。我が国最高レベルの政策決定者である官邸幹部への報告には、細心の注意を払う必要がある。分刻みの日程で動く総理や官房長官に対して、迅速に、しかも限られた時間の中でいかに有意義な報告を行うか、毎回頭を悩ませる。楽ではないが、我が国の国益に直結する仕事である。

内閣情報調査室には、我が国情報関係機関の調整役としての顔もある。政府の情報機能は着実に強化されてきた。情報収集衛星のように、諸外国に引けを取らないレベルに達している分野もあれば、抜本的な能力向上が必要な分野もある。経済安全保障やサイバー空間に関連する情報機能も大きな課題となっている。国際社会における我が国のプレゼンス、同盟国や友好国と安全保障面での協力が大きく進展していることを考えると、これを支える情報機能のさらなる強化が求められている。

情報の世界は、誇張したイメージで語られることが多い。小説や映画で描かれる陰謀渦巻くおどろおどろしい世界、特定の「スター」が見せる縦横無尽の活躍、いずれも実際にはあり得ない絵空事だ。実際は、事実関係を淡々と追求する

「静的」な世界である。特定の個人に脚光が当たることもない。地道な努力と忍耐力が求められる「縁の下の力持ち」の世界である。

情報収集にはいくつもの対象分野・手法があり、情報の集約や分析にもそれぞれのノウハウがある。必要とされる人材は、画一的ではない。各分野で実務経験を積むことにより、独自のセンスを磨き、専門性を身に付け、情報のプロとして活躍する職員も多い。情報の世界を志す人にとって最も重要なのは、自国のため、公のために力を尽くしたいという強い意識である。そんな意識を持ち、柔軟な思考で新たな課題に果敢に取り組む気概のある皆さんが、内閣情報調査室の一員に加わってくれることを心から願っている。



内閣情報官  
瀧澤 裕昭  
HIROAKI TAKIZAWA

# What is Intelligence?

インテリジェンスとは何か

The basic stimulus  
to the intelligence is doubt,  
a feeling that the meaning  
of an experience  
is not self-evident.

W.H.Auden

知性への根本的動機は、  
経験の意味するものが自明ではないという感覚、  
すなわち疑いである。  
ウイスタン・ヒュー・オーデン

## 内閣情報調査室の業務について

都合の良い情報は人を喜ばせるが、私たちが窮地から救ってはくれない。

真実が常に好ましいとは限らない。

しかし好ましからざる真実を伝えてこそ、価値ある判断が下される。

客観的、中立的立場から政策決定者に情報を提供するインテリジェンスとは、

失敗できない政策決定を支える「縁の下の力持ち」なのである。

# What is Intelligence?

## Mission

### 01 内閣の総合戦略機能、内閣官房

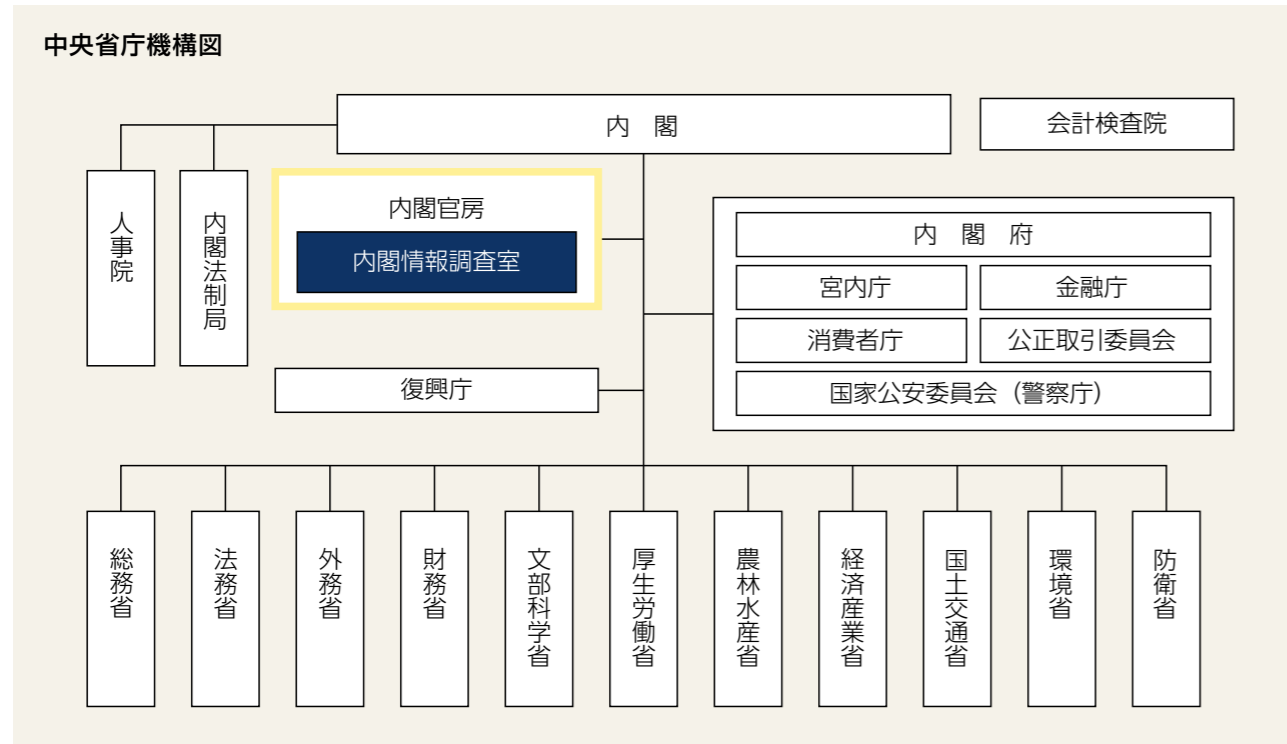
#### Mission

「内閣官房」は、内閣<sup>\*</sup>の補助機関です。内閣の首長たる内閣総理大臣を、直接補佐・支援する、内閣の「総合戦略機能」を担っています。

※内閣：  
内閣総理大臣と国務大臣で組織  
内閣法第12条

内閣官房の職務のうち、内閣情報調査室が担当し、内閣情報官が掌理する主な事務は、「内閣の重要政策に関する情報の収集及び分析その他の調査に関する事務」と定められており、非常に幅広い分野を対象としています。

内閣官房組織令第4条



出典:官邸ホームページ



新型コロナウイルス感染症対策本部



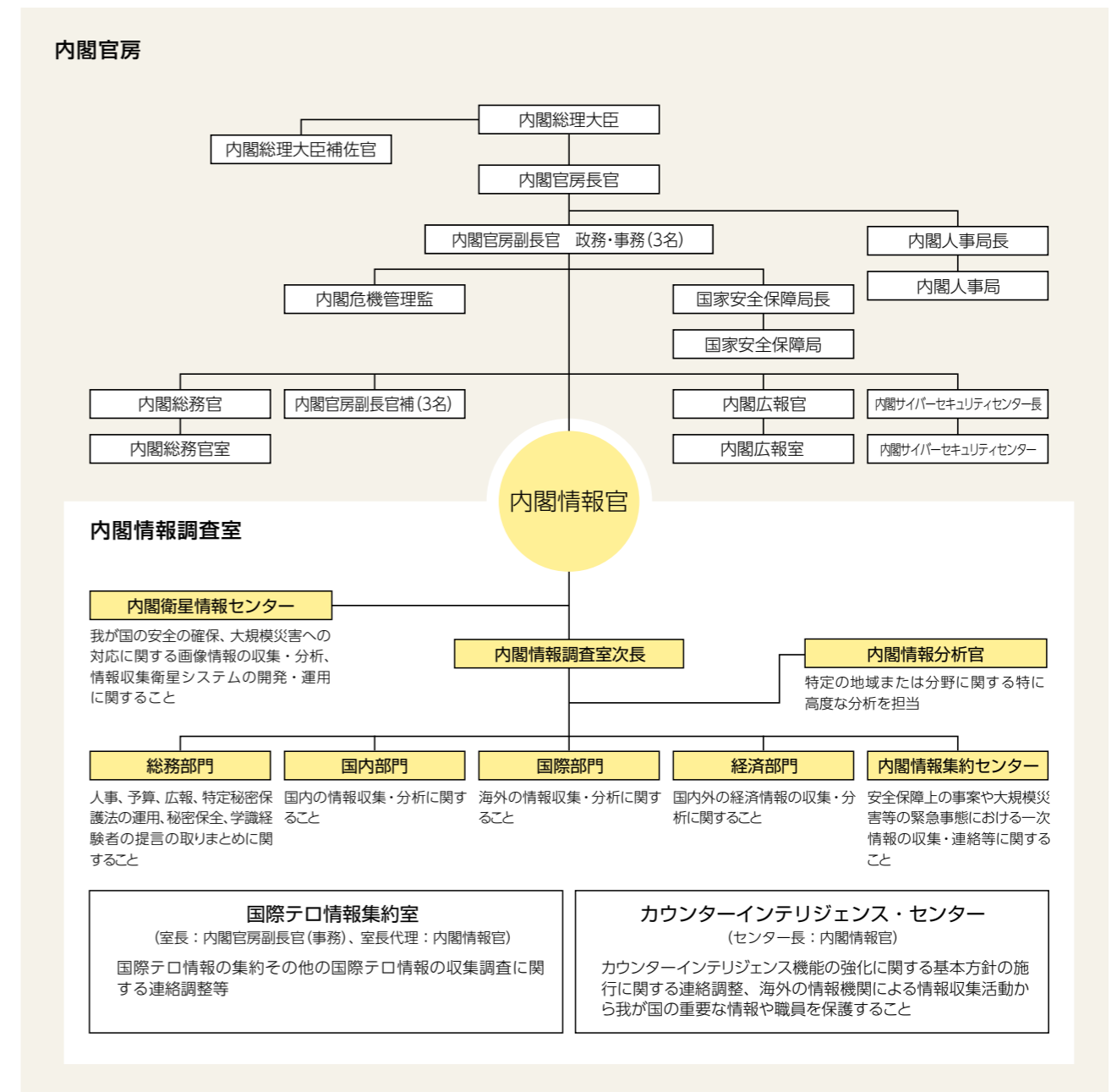
アフリリノ米インド太平洋軍司令官による表敬



APEC 首脳会議

### 内閣情報調査室の組織体制

内閣情報調査室は、4つの部門を基礎とし、近年諸機能を加え、多機能型の総合的な機関として拡大しつつあります。



## 02 総理の目と耳としての役割 ～政策決定プロセスの支援～

### Mission

情報機関の役割は、  
政策決定者の判断を助けるための支援です。

政策決定者が国家の進むべき方向性を決定する際、背景事情やリスク・利益といった物事の見通しがなければ、正しい判断を行えません。インテリジェンスとは、いわば国家という大きな船が航海する上での不可欠な海図なのです。



#### ■ インテリジェンスの提供

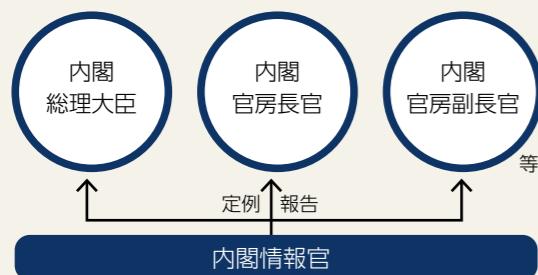
内閣情報調査室が提供するインテリジェンスは、様々な場面で国の政策決定を支援しています。

##### 内閣総理大臣への定例報告

毎週定例の内閣総理大臣への報告を行っています。重要かつ緊急を要する情報については随時報告されます。総理の目と耳としての役割を果たし、官邸の柔軟かつ機敏な政策決定を支援するのが当室の役割です。

##### 国家安全保障会議(NSC)への参加

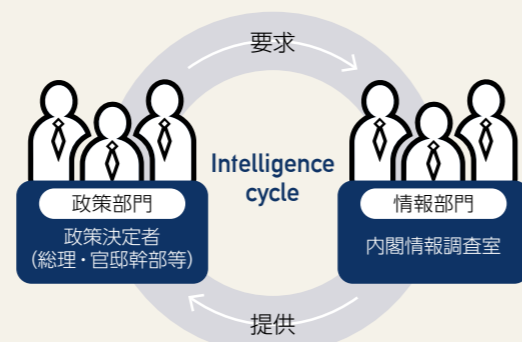
NSCに提供された情報は、国家としての政策立案等のために活用されています。



#### ■ インテリジェンス・サイクル

情報と政策は、分離しつつも密接にリンクしています。

政策決定者が自ら情報収集を行うと、結論ありきの恣意的な内容になりかねません。政策を決める者(政策部門)と、情報を扱う者(情報部門)は、明確に立場を分ける必要があります。しかし両者は乖離することなく、密接にリンクしています。両者は、インテリジェンスの要求と提供を繰り返し、有機的なインテリジェンス・サイクルを形成しています。

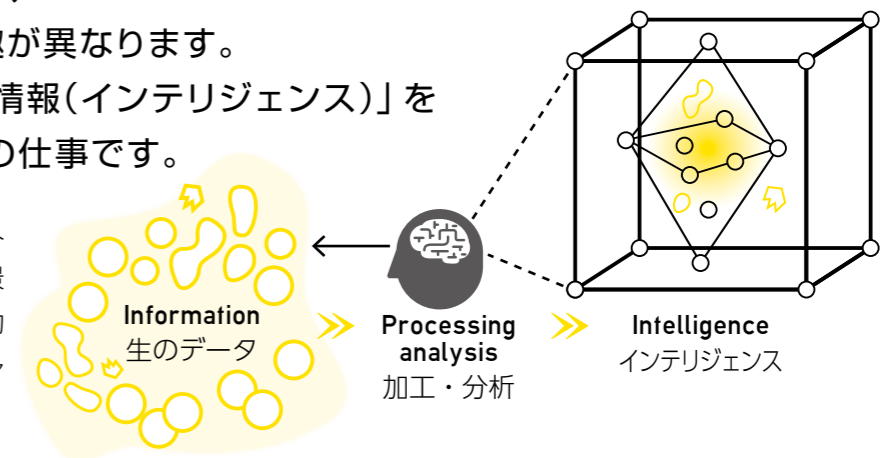


## 03 「インテリジェンス」を紡ぐ

### Mission

内閣情報調査室の業務は、  
一般的な行政事務とは趣が異なります。  
タイムリーで質の高い「情報(インテリジェンス)」を  
紡ぎ出すことが、私たちの仕事です。

私たちを取り巻く様々な国内外の情勢や重要課題について、背景の調査・現況の把握と今後の動向の分析を、客観的・中立的・多角的な観点から行います。



#### ■ 内閣情報調査室における「インテリジェンス」の創造

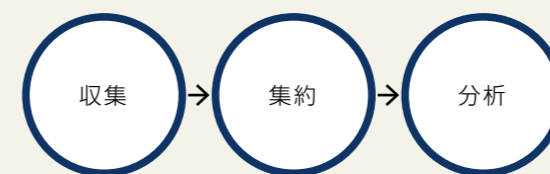
当室の業務は、時に「新聞記者」「商社マン」「学者」といった言葉になぞらえられます。こうした例えは、私たちの業務がいわゆる役人的な型にはまらないものであることを言い表しています。

##### 収集 フットワークを生かす

国内外の様々な人から話を聞くほか、公開情報の収集、海外の情報機関との情報交換、人工衛星による画像情報の収集等、積極的に情報収集を行っています。

##### 分析 物事の背景、真相を解き明かす

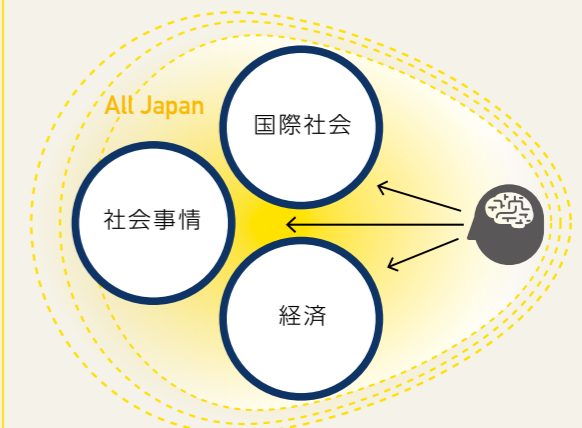
様々な情報収集手段(公開情報、衛星画像、人的情報等)によって得られた情報に基づき、分析を行います。



#### ■ 縦割りにとらわれないオールジャパンの視点

特定の政策や分野に縛られない“オールジャパン”の視点から業務が行えることは、当室の大きな特徴のひとつです。

内閣情報調査室は、「内閣の重要政策に関する全ての情報」を取り扱っています。他省庁がそれぞれの掌理する範囲内の情報を取り扱うのに対し、当室では特定の事項に限定されることなく、幅広い事象を対象として情報の収集・分析を行っています。



# What is Intelligence? Works

## Works

内閣情報調査室の業務

# 多機能型の総合的な 機関として拡大

### 情報コミュニティ省庁との連絡調整

内閣情報調査室は、情報コミュニティの「要」（結節点）としての役割を果たしています。

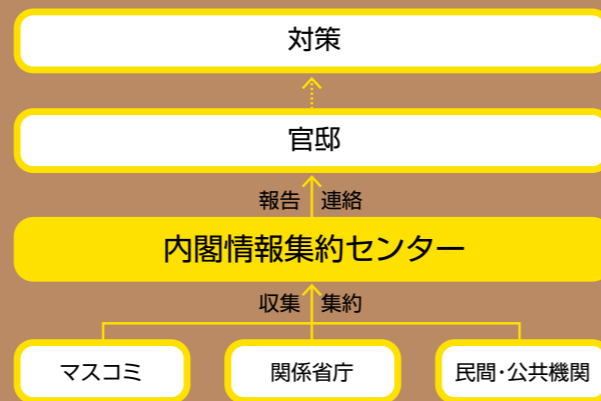
当室は、官邸の政策担当者と情報コミュニティ省庁、両者をつなぐ連絡調整の役割を担っています。閣議決定に基づき設置された内閣情報会議、合同情報会議、情報収集衛星推進委員会及び情報収集衛星運営委員会を開催する他、当室が中心となって関係省庁との連絡会議を随時開催し、いわば「オールジャパン」で内閣の政策判断を支援する体制が構築されています。



### 緊急事態の初動対応

安全保障や災害に関わる情報を、当室から官邸幹部に速報します。

内閣情報集約センターでは、国内外の緊急かつ重要な情報を24時間体制で収集・集約しています。各省庁・内外の通信社との専用回線等のほか、災害発生時には防衛省・警察庁等のヘリコプターから映像をリアルタイムで受信するシステム等を備えています。

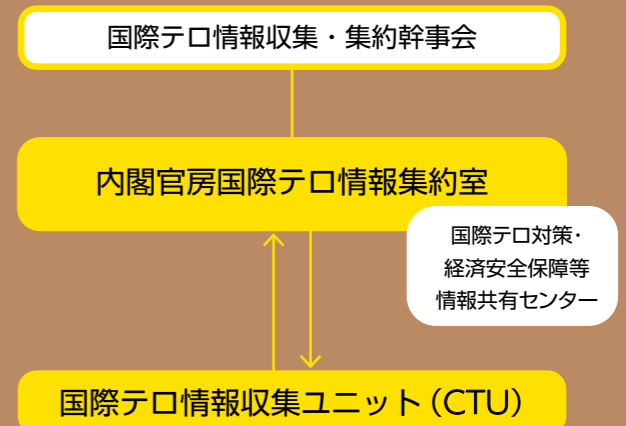


### 国際テロ情報の収集・集約体制

邦人の安全確保のため、官邸直轄で国際テロ情報の収集・集約体制が整備されています。

国際テロ情報の収集・集約体制としては、「国際テロ情報集約室」「国際テロ情報収集ユニット」の2つの組織体が整備されています。「国際テロ情報集約室」は、官邸幹部や関係省庁の情報関心の取りまとめ等を行い、これに基づいて、「国際テロ情報収集ユニット」が、いわば官邸直轄の実働部隊として海外で情報収集を行っています。ユニットは、4名の幹部級の職員の下、東南アジア、南アジア、中東、北・西アフリカ、欧州の5地域を対象に活動しており、我が国として、海外を対象としたファーストハンドの情報収集に取り組んでいるほか、邦人関連テロ発生時に備えた、各国の治安・情報機関との迅速な協力ラインの確立に努めています。

平成27年12月に発足したこの組織には、平成30年8月、「国際テロ対策等情報共有センター（現：国際テロ対策・経済安全保障等情報共有センター）」が設置され、テロ情報への迅速な対応体制があらたに強化されました。





出典:官邸ホームページ

a. 第207回国会 総理大臣所信表明演説 b. 記者会見室 c. 閣議室 d. 首相官邸内2階と3階をつなぐ階段 e. 九都県合同防災訓練

## ■ 基礎となる4つの部門

### 総務部門

人事・会計・予算・国会対応といった管理・調整業務のほか、以下の業務を行っています。

#### 情報の総合分析

特定の地域・分野について、内閣情報分析官のもとで高度な分析に従事するとともに、内閣情報会議や合同情報会議の運営等、インテリジェンス・コミュニティの連携を強化するための業務を行っています。

#### 学識経験者の提言取りまとめ業務

国際情勢等をはじめとする各界の有識者から様々な情報や見解、提言等を聴取します。取りまとめた提言は官邸の政策判断に寄与するべく、総理大臣等に報告されます。

#### 特定秘密保護法に関する業務

特定秘密保護法に基づく制度の統一的な運用のため、各省庁からの問い合わせに応じる等の業務を行っています。

### 国内部門

政治・社会事情について、国民の意見の収集・分析や国内の新聞・放送・雑誌等の論調分析を行っています。

#### メディア情報を用いた情報収集・分析

一般に公開されている新聞・雑誌・テレビ等のメディア情報を継続的にチェックし、重大な事案として発展する可能性のある情報の収集・分析を行っています。

#### 各界の専門家との意見交換

政界やメディア等、国政の主要課題に精通あるいは影響力を持つ各界のプロと意見交換を行い、情報収集・分析を行っています。

### 国際部門

海外の特定の地域や分野に関する情報収集・分析を行っています。

#### 海外関係機関との渉外業務

海外関係機関と意見交換や協議を行い、情報収集・分析を行うほか、関係構築や連携を図っています。

#### オール・ソース・アナリシス

情報収集には、刊行物やインターネット等の公開情報のほか、例えば人的情報や衛星画像等といった多種類の情報収集手段を用いています。これらから得られる情報を総合的に評価し分析する「オール・ソース・アナリシス」の体制を構築しています。

### 経済部門

日々のマーケット情報や、コモディティ（商品市場）の動向、日々発表される内外の経済指標、国際機関の分析評価レポート、国内外のシンクタンクのレポート等を継続的にチェックし、政策にとらわれない客観的な経済分析・評価を行っています。

# 衛星開発から運用、 画像情報分析まで行う 唯一の政府機関 内閣衛星情報センター

## 内閣衛星情報センターの組織体制

内閣衛星情報センターは、内閣情報官直下の内閣情報調査室におかれた組織です。

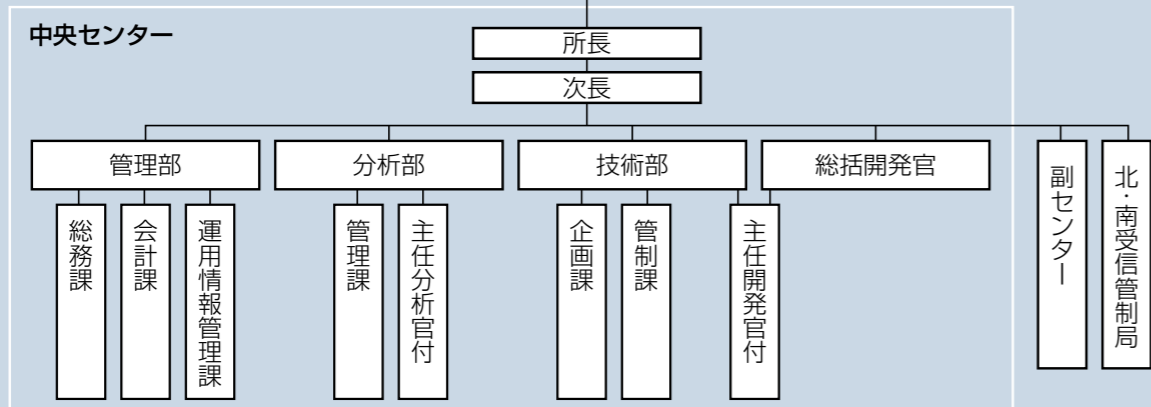
組織体制は所長、次長以下、管理部、分析部、技術部がある中央センター（東京都）と、副センター（茨城県）及び北受信管制局（北海道）・南受信管制局（鹿児島県）から構成されています。

職員は、中央センター、副センター及び北・南受信管制局のいずれかに勤務することとなります。



内閣情報官  
内閣情報調査室

### 内閣衛星情報センター



# About CSICE

CABINET SATELLITE INTELLIGENCE CENTER

## 内閣衛星情報センターの歴史

内閣衛星情報センターは、平成10年（1998年）の北朝鮮によるミサイル発射を契機に、外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への危機管理のために必要な情報の収集を主な目的として、平成13年（2001年）に設立されました。

現在、光学衛星2機とレーダ衛星2機の4機を運用しています。今後とも機数の増加や性能向上により情報収集能力をさらに強化し、衛星開発から運用、画像情報分析まで行う唯一の政府機関として、国民に対し貢献できるよう努めていきます。



## 情報収集衛星の必要性

我が国を取り巻く国際情勢は依然として厳しく、また大規模な自然災害も続いています。外交・防衛等の安全保障や大規模災害等への対応等の危機管理のための情報収集は急ることのできない状況です。内閣衛星情報センターでは、情報収集衛星により撮像した安全保障や危機管理に関する画像を、官邸をはじめとする政府機関に提供するとともに、自ら分析を行っています。画像から得られる情報は高い評価を受けており、各機関で積極的に活用されています。

## これからの内閣衛星情報センター

現在内閣衛星情報センターでは、情報収集衛星8機及びデータ中継衛星2機の10機体制の構築を目指しています。

10機体制により、地球上の任意の地点を1日2回以上撮像可能になります。また、伝送機会的大幅な増加により即時性も向上し、現在よりも鮮度の高いタイムリーな情報を、官邸や省庁等に提供することが可能になります。

他方、複数の衛星の並行開発や10機体制の運用に耐える地上施設の開発が求められるとともに、情報収集衛星の運用業務も増加することが見込まれることから、これらを支える内閣衛星情報センター職員の責務は今後さらに重要となると考えています。



©三菱重工/JAXA



a.



b.

a. 熊本県(令和2年7月熊本県豪雨橋梁消失) b. 宮城県栗原市中央部(令和元年10月台風19号に係る被災地域)

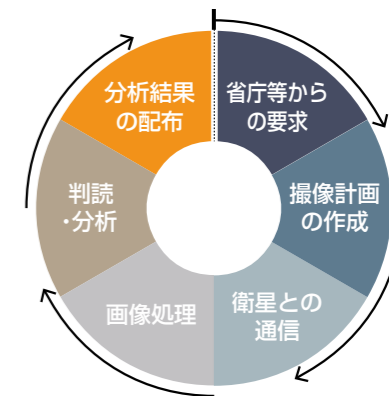
### 加工処理画像の公開

国内で大きな災害や事故が起こったとき、内閣衛星情報センターでは自治体や国民の皆様へ情報を提供するため、情報収集衛星の画像を加工して公開しています。平成27年に公開を始めてから令和3年までの間に、大規模な洪水や火山噴火、地震等8件の災害で、合計153件の画像を公開しています。

## 内閣衛星情報センターの2つの柱

### 情報収集業務

情報収集衛星を用いた情報収集の業務は、右図のサイクルで行います。このサイクルは省庁等からの要求、撮像計画の作成、衛星との通信、画像処理、判読・分析、分析結果の配布の順に循環しています。サイクル各項目における業務内容及び所掌する部署は、下表のとおりです。



業務のサイクル		所掌部署	
1	省庁等からの要求	政策立案や任務遂行に必要な情報について、省庁等から要求を受け付け	■ 管理部
2	撮像計画の作成	情報収集衛星を用いて地球上のどこを撮像するか計画	■ 管理部 ■ 分析部
3	衛星との通信	情報収集衛星を制御する命令を送信 また、撮像した画像データを受信	■ 技術部 ■ 副センター ■ 北・南受信管制局
4	画像処理	受信した画像データを視認可能なものとするために、画像処理を実施	■ 技術部
5	判読・分析	画像を判読・分析し、報告書を作成	■ 分析部
6	分析結果の配布	作成した報告書を省庁へ提供	■ 管理部 ■ 分析部

### 情報収集衛星システム開発業務

内閣衛星情報センターでは情報収集の業務だけではなく、情報収集衛星システムの開発\*も独自に行っています。

情報収集衛星システムは衛星システムと地上システムに分類されます。情報収集衛星は衛星システムとして、撮像計画の作成や衛星との通信、画像処理等を行うシステムは地上システムとしてそれぞれ開発しています。

情報収集業務を支えるために、運用者のニーズをふまえた的確な開発により、運用しやすいシステムを構築することが求められます。

\*内閣衛星情報センターにおける開発業務とは、衛星の設計図の製図やシステムのプログラミングといった専門的な業務ではなく、情報収集衛星システムの開発業者の選定や、開発管理業務を指します。開発管理業務とは、最新の技術情報や情報収集業務及び運用者のニーズから、今後必要となる情報収集衛星の性能等の仕様を決定するとともに、システムの開発状況を管理することです。具体的には、開発予算の作成、最新の技術動向や運用者のニーズの調査、スケジュールの進捗管理等があります。

\*情報収集衛星には、現在年間600億円以上の予算が使われています。これは政府の宇宙関係予算の中で最大のものです。



The fact  
that a great many people  
believe something  
is no guarantee  
of its truth.

W. Somerset Maugham

多くの人間が信じているという事実が、  
真実であることの保証とはならない。  
サマセット・モーム

### 内閣情報調査室職員の声

一層の複雑さを増す国際社会、難解さを極める国内情勢。

混迷の時代に、国家という巨大な船を支えるべく、

内調職員は日々情報を集め、真実を探求している。

内調業務に従事する職員はどんなことを考えながら働いているのか。

職員の声を聞いてみよう。



# Message

## 職員から皆さんへ

内閣情報調査室には、様々な情報の専門家及び専門家のたまごがいます。

様々なフィールドで新たな課題に挑戦し、組織をリードし続ける6名の職員の声をお届けします。

### 気持ちを奮い立たせるのは、 インテリジェンスの 発展に貢献したい想い

国際部門  
ベテラン職員・男性

国際部門で長年、対外連絡調整を担当していますが、米中の狭間に位置する我が国において、官邸直結の当室は、今や各国の注目を集める存在です。活動の規模、質がともに進化している当室で、対外窓口を担えることは格別です。日々の業務は、連絡調整や文書管理が基本となりますが、緊急事案への対処の他、国際情勢や対外関係の未来等大局に想いを巡らす機会も多くあります。舞台回しから議論の中身の検討まで業務の幅は広く、日々、プロジェクトを運営する感覚で相手との信頼関係を築きながら、目標達成を目指しています。激務との声もありますが、国の困難に際して活躍した明石元二郎や石光真清ら情報将校への憧憬と、我が国インテリジェンスの発展に貢献したい想いが私を支えています。国際環境の厳しい荒波をいかに生き抜くか。対外インテリジェンス、待ったなし。伸び盛りの当室、そして我が国の対外インテリジェンスを共に支えていく気概のある皆さんと、共に働ける日を楽しみにしています。

### 大切なことは、謙虚さと倫理観、向上心の維持

内閣衛星情報センター  
ベテラン職員・男性

私は衛星情報センターの画像分析官として日々、衛星画像を見て報告書を作る仕事に携わっています。衛星画像に写る場所や調べる対象は多岐にわたります。様々な処理方法を駆使して画像から特徴を探し出し、さらにその原因に迫り、報告書にします。業務中は、目と指と脳がフル稼働でハードな仕事です。論理構成、誤字脱字、誤解のない表現を意識して報告書を作っているせいか、妻からは「出会った頃よりも理屈っぽく、言い間違いの指摘も増えた気がする」と言われたりします。

この仕事をしていて喜びを感じる瞬間といえば、ニュースより先に発見したり、報道内容と異なる発見をしたときですね。情報が官邸に報告された時はやはり、分析官として大きな誇りを感じます。その喜びや誇りを得るには、謙虚さ、倫理観、向上心の維持が欠かせません。私は50歳過ぎですが、職場の理解もあり、英語研修や情報システム研修に参加させてもらっています。向上心を持ちつづけられるガッツのある方をお待ちしています。

### 大切にしているのは、 小さな変化を察知して 素早く対応する適応力

国際部門  
中堅職員・女性

我が国を取り巻く安全保障環境の厳しさが増している中、情報機関に求められる役割は年々増大しています。現在、私は国際部門において、さらなるインテリジェンス能力強化のための情報の収集・集約・分析・共有体制の整備や、安全保障に関連する緊急事態が発生した際の初動対処等を担当しています。情報コミュニティと協力して整備した体制が実際に活かされ、政策部門からの情報要求に応えられたときや、緊急事態という緊迫した状況下で官邸への情報貢献の一端を担えたときに、大きな達成感・やりがいを感じられます。官邸に近いという特性から当室の業務の多くは、瞬時の判断や行動が求められますが、常に冷静に対応するためにも、日頃から多方面にアンテナを張り、何が必要とされているのか、先を見据えながら業務に従事することを心がけています。当室は、意欲のある人に常に門戸が開かれている職場です。内閣の重要政策決定の一端を担いたい方、ぜひ一緒に働いてみませんか。

### 情報というピースを分析し、 パズルの大枠から見出すストーリー

総務部門  
中堅職員・男性

我が国の安全保障に関わるサイバー関連情報を様々なソースから収集し、数ある情報のピースから分析を行い、評価する。私は現在総務部門に所属し、分析担当としてこの一翼を担っています。国内外の組織と協力して一つの案件を深めていくこともあり、パズルの大枠がみえてきたときは大きな達成感を味わうことができます。

サイバーセキュリティの分野は、攻撃手法や技術を理解するテクニカルな力、各国のサイバー関連動向を追って情勢を俯瞰する力等が求められるため、特に継続的な学習が必要です。そのため、現在意識していることは、サイバー分野に係る全般的な見識や技術的な知識を深めて職務に活かすことです。よりよい分析に寄与するよう日々努力しています。一口にサイバーといっても様々な分野があり、全てにプログラミング等の専門的な能力が必要な訳ではなく、皆さんのこれまでの経験を活かせる仕事も数多くあります。皆さん、ぜひ一緒に働きましょう！

### 何事にも代え難く、 面白みを感じる分析的アプローチ

経済部門  
若手職員・男性

私は経済部門でマーケット動向、国際経済動向、当該国における業界動向等の分析業務に就いています。現在の業務は、主に公開情報を収集し、分析を行い、報告資料を作成することです。

新型コロナの世界的な流行は、世界経済に大きな影響をもたらしました。コロナの影響と一言にいても、インフレ率や長期金利といったマクロ経済・金融指標、主要物品に係るサプライチェーンの脆弱性といった経済安全保障分野、雇用や主要業界の動向といった国内経済等担当が見るべき点は多岐にわたります。

経済的事象に関するデータを丹念に拾い集め、分析を行い、説得力のある結論、予測を導き出す作業は、一見地味ですが何事にも代え難い面白みを感じる業務です。霞が関には多くの経済官庁がありますが、政策に捉われずに官邸にとって、今必要なインテリジェンスを提供できることが当室の経済部門の魅力です。ぜひ皆さんには当室の門を叩いて欲しいと思います。

### アンテナの基盤は一人ひとりの好奇心

国内部門  
若手職員・男性

私は国内部門で国内情勢に関する情報の収集・分析業務を担当しており、特に新聞等をはじめとする公開情報を扱っています。日本国内で発生した事象や政府が行う予定の政策について、メディアがどのように報じ、どのような反応を示しているか、日々ウォッチしています。また、それらの情報を速やかに収集・分析し、報告書にまとめることで、政策判断に貢献しています。

私は当室で働く上で必要不可欠な素質は「好奇心旺盛であること」と考えます。例えば、国内情勢を調べる際、最近の動きだけを追っていただければいいというわけではなく、過去の動向や歴史的背景等も調べる必要があります。また、諸外国の動きについても、常にアンテナを張っていなければなりません。このように、旺盛な好奇心をもとに様々な情報を拾えるのは必要な素質と考えます。

これから当室で働く皆さんにも、好奇心旺盛に取り組んで欲しいと思います。一緒に働ける日を心より楽しみにしています。

## Special Talk

## スペシャルトーク対談

## Theme: 01

内調は主に情報を扱う官庁であり、霞ヶ関でも一風変わった存在です。内調ならではの政策への関わり方、その面白さはどのようなところにあると思いますか。

**B** 政策立案には政策立案の面白さがあるかと思いますが、情報という仕事は「どのようにあるべきか」ではなく「どのようにあるのか」を発信するものなので、政策立案・施行から独立した存在であることは必要不可欠ですね。本来、集めた情報を検討した上で政策を立案すべきであるのに、情報を軽視し「やりたいこと」に合わせて現状を都合良く解釈した結果、大変な事態に陥った事例は過去にいくつもあります。「やりたいこと」=政策から自由な情報機関は、日本が正しい判断をする上で重要な存在なのではないでしょうか。

**A** 個人的に内調の業務の面白さは、その最終目的に向かって業務を進める際に、例えば、ある事項に関する情報の収集・分析を進めるにあたって、どのような側

面からアプローチするか、どういう切り口で分析するか、といったことを決める上で担当職員の裁量が比較的大きいところにあると思っています。

**D** 政策立案から自由な組織は、裏を返せば、「扱えない情報がない=縛りがない分、どんなジャンルの情報収集もできる」ということだと思っています。扱う分野の幅広さといった点も、内調を志した理由でした。

## Theme: 02

今の世界情勢の流れについて、この時代に名前をつけるとしたらどのような言葉を選びますか。

**A** ずばり「力の時代 v2.0」。第2次世界大戦から冷戦終結までが「力の時代 v1.0」。その後、米国1強時代が終わって、今、中国・ロシアを筆頭に、インド・トルコ等が続く形で国力をつけて、米・EUに挑戦しているように見えます。「v2.0」とした理由は二つ。一つは、かつてのように軍事力だけではなく、経済力はもちろん先端技術も駆使している点で、対立の様相が以

前と異なっていること。もう一つは、「v1.0」の頃は政治イデオロギーの対立が背景にあったけども、今はそれよりも民族主義等が背景にあるように見えることです。

**B** 僕は、「新たな世界システムへの移行期」と名付けたいです。世界を様々な地域・国が有機的に結びつく一つのシステムだと考えれば、中世における世界システムの中心は東西両文明の結節点である中東地域でした。その後、大航海時代、産業革命を経て世界システムの中心はヨーロッパに移りました。両大戦における欧州の疲弊とともに世界システムの中心は米国に移りましたが、今、その世界システムの中心はアジアに移りつつあり、中でも中国の台頭は日本を含め世界に様々な影響を及ぼしています。しかしまだ新たな世界システムは明確な

形を現しておらず、この移行期にあって世界各地で様々な混乱が起きているという認識です。

## Theme: 03

そのような情勢の中、内調は今度どのように変わっていくべきでしょうか。

**A** 2000年代に入って既に20年以上過ぎましたが、希望や期待に反するように、我が国をめぐる環境はますます厳しくなるばかりで、当面はそれが好転するようにも見えません。それに伴って内調をはじめとする情報機関の役割もますます重要にならざるを得ません。諸外国に比して立ち遅れているとされる日本の情報機関もグローバル・スタンダードのレベルであることが強く求められています。

**B** 僕も、情報機関の重要性は増す一方だと感じています。大きな時代の変わり目に直面する中、既存の考え方が通用しなくなり、日本を含め世界の先行きにはますます不透明感が増していますからね。そうした中、国民の皆さんを確実に守っていくために、総理直属の情報機関であり情報コミュニティの取りまとめ役も担う内調には、情報の集約機能と分析機能の向上がより一層求められることとなるのではないのでしょうか。

**C** 内調の役割の重要性が高まる中で、僕たち若手にはどのようなことが求められているのでしょうか？

**A** 既に指摘したとおり、私は内調がグローバル・スタンダードの情報機関たることが求められていると思います。すでに各部門で頑張っている若手職員、これから採用される職員は、グローバル・スタンダードの内調を担う主力職員になるわけですから、それにふさわしいレベルの識見・教養・バイタリティ・献身性をしっかりと身に付けてほしいと思っています。それにはどうしても時間がかかるので、一見地味に見える業務であっても辛抱強く継続して色々なことを体得してもらいたいですね。

**B** 総理直属の組織である以上、内調職員はまず、日本で最高の情報専門家でなくてはなりません。しかしながらそこに至る道のりに「正解」はありません。上司や先輩の教えることをただ学ぶだけでは、真の情報の専門家にはなれないのです。情報の世界は常にフラットで、肩書や過去の経験はその人が持つ情報の正しさを保証しません。これからの内調を担う若手の方にはぜ

ひ、経験のなさや失敗を恐れず常に「トライ&エラー」を繰り返してほしいし、堂々と自分の考えを主張できるようになって欲しいと思っています。

## Theme: 04

最後に、内調を志す学生の皆さんにメッセージをお願いします。

**D** 学生に近い目線の意見としては、ぜひ積極的に、自らが納得するまで行動して欲しいです！世の中には、様々な就職先・選択肢があります。学生の方は、まず自分が職員として選んでもらえるか、と考えるかもしれませんが、受験生にも選ぶ権利があります。積極的に情報収集をして、そのうえで内調で働く選択をしてもらえたら嬉しいですね。

**C** “情報機関”というと暗くて怖いイメージをもちやすいですし、内調が独自の政策を所掌していないことから、内調でのキャリアを想像しにくい部分はあるかもしれませんが、しかしながら、内調にしかできないことが多くあるという事実を、学生の皆さんにはっきりとお伝えしたいです。官邸直属の情報機関として、様々な情報を駆使して政府の中核にインテリジェンスの面からコミットしていく。そんな情報の世界に一生をかけてどっぷりと浸かることができるのは内調だけです。

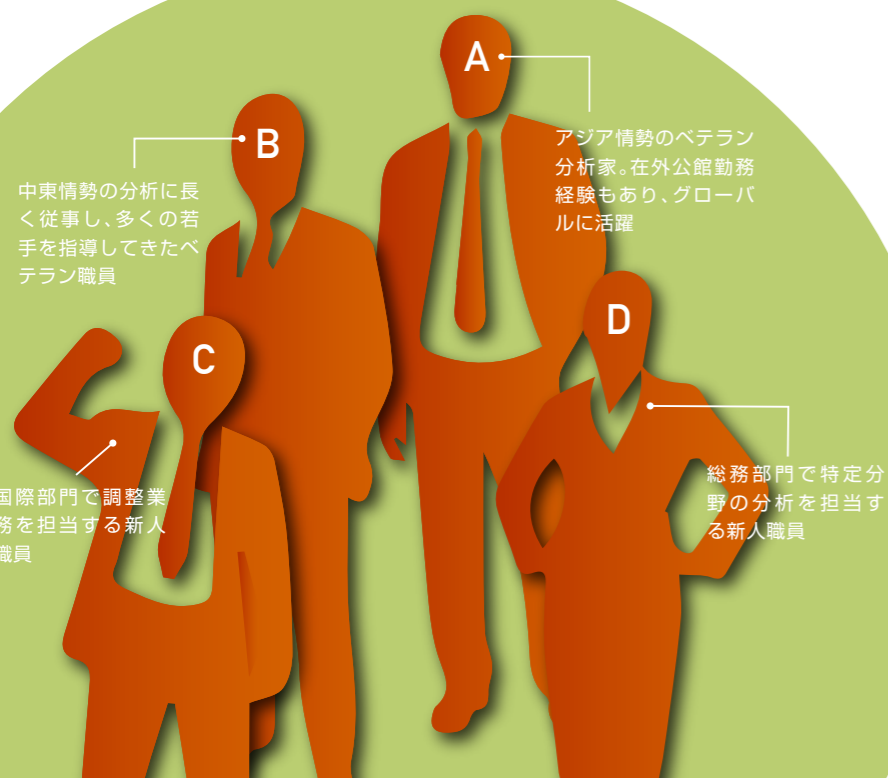
**A** 就職は進学とは違った重みがありますが、民間であれ公務員であれ、一旦仕事を始めれば、それはまた新たな「学び」のスタートでもあります。とりわけ情報機関の職員は「勉強」を続けなければ仕事になりません。誤解をおそれずに言えば、内調職員になったら、仕事のかたわら一生勉強が続くと考えてもらっても間違いではありません。その重みをよくよく考えた上で、我こそはと思う方はぜひ当室の扉を叩いてみてください。

**B** 度々述べたように、今日本も世界も大きな時代の転換点にさしかかっています。この複雑さを増す時代に、内調は総理の「目」「耳」として、「一歩先」を見通す力をより一層、磨く必要性に迫られています。旧来の確立された、決まり切ったやり方では時代を先取りするどころか時代に取り残されかねません。内調が変わり続けるために、そして日本により良い未来をもたらすために、柔軟で多様な考えを持つ皆さんが我々の列に加わってくれるよう、切に願っています。

## Dialogue

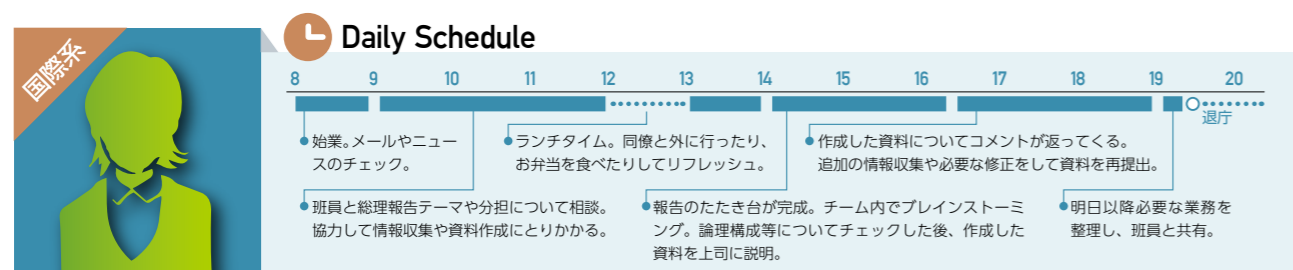
## ベテラン職員 × 新人職員

採用20年以上の職員と新人職員の対談をお届けします。



# Work Style

## 国際系職員・技術系職員の働き方



### Career Paths : 部署

**総務部**  
有識者の提言をとりまとめる業務を担当。もともとは政治に詳しくなかったのですが、業務を通じて、官邸に報告すべき国内外の重要な政治情勢に広く触れることができ、特にアジア地域の情勢に興味を持つようになりました。

▼

**総務部**  
国会対応、関係省庁との調整等の業務を担当

▼

**国際部**  
念願かなってアジア地域の分析業務を担当。語学留学の機会も含め、3年間、ひたすら精進。ゼロからのスタートで、ハードな日々でしたが、専門とすべき分野との出会いとなりました。

▼

**総務部**  
情報機能の強化業務を担当。

▼

**他省庁への出向**

▼

**在外勤務**  
年長になる娘を連れて、3年間の在外勤務へ。初の在外勤務で戸惑いも多かったですが、海外にいる日本人から相談を受ける業務を担当。仕事の内容は違えど、話をよく聞き、柔軟に考え、先を見越して対処するのは、これまで培った経験と共通します。問題解決後に、「相談して良かった。ありがとう。」という言葉もらえるのが何よりも励みになりました。

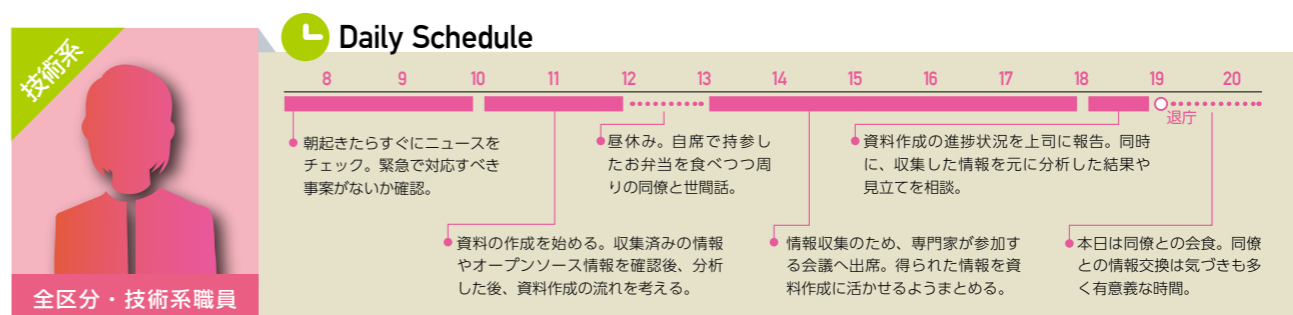
▼

**国際部**  
様々な部門を経験しましたが、やはり「戻る」場所はアジア地域の情勢分析。様々な

経験を積み、以前よりも広い視点で物事を見ることができるようになったと感じます。

### Life style

小学校高学年になる娘は、社会科が好きで、特産物等のクイズを出してくるのですが、意外と難しい。「知らなかった。今度行きたいね。」と地図を見ながら旅行計画をたてたり、季節の果物と一緒にお菓子を作ったりするのが休日の楽しみです。娘が勉強している間に、自分も語学勉強。最近、土日にNHKラジオ語学講座を一定期間分まとめて予習しておき、平日の通勤時間等の隙間時間に反復シャドーウィング。コツコツ積み重ねる努力の成果が、仕事でも、旅行でも活かせるといいなと思っています。



### 全区分・技術系職員

### Career Paths : 部署

**総務部門**  
情報セキュリティ等に関する調整業務を担当。政府における情報セキュリティ等についての基礎的な考え方や制度について学ぶことができました。

▼

**総務部門**  
内調内や他省庁との調整業務に従事。様々な意見を聞き、それをより良い形に取りまとめ、異なる意見を持つ相手を説得するという一連の流れを経験できたことは、理系職員とその他職員をつなぐ、いわゆる「橋渡し人材」の能力の基礎を培うものでもあったと感じています。

▼

**国際部門**  
国際部門で作成した資料の取りまとめを担当。資料の行き交う業務を通じ、情報のインテリジェンスサイクルを、身をもって確認でき、政策省庁と情報機関の関係や情報機関の中での内調の果たすべき役割、立ち位置を再確認することができました。

▼

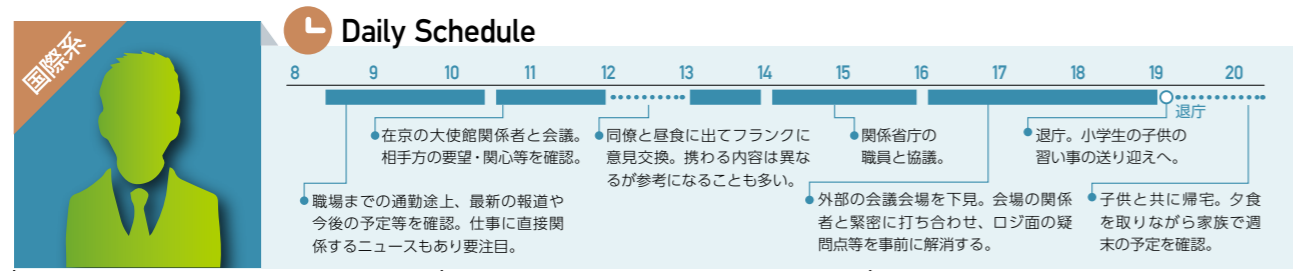
**他省庁への出向**  
内調から離れることで、内調が社会で果たすべき役割等を改めて認識することができました。

▼

**総務部門**  
特定の分野について、総合分析を行う部署へ。技術的素地も求められるものです。また、分析を行うだけでなく、他省庁等との調整を行う必要もある業務で、内調職員と

しての様々な能力が求められます。これまでの部門で得た経験に助けられる部分も大きいと日々感じています。

**Life style**  
平日の夜は、家族と夕食を作ったり、テレビを見ながらゆっくり過ごすことが多いです。面白いもので、業務と関係のない番組を見ていたり、家族と他愛のない話をしていても、業務に活かせるようなヒントや知識を得たり、聞いたりすることもあります。休日は、自己研鑽のためにIT分野の資格取得や語学習得に向けた勉強をしたり、ホットヨガに通ったりしています。内調で様々な部署を経験してきましたが、自分のペースで業務を進められる部分が大きく、プライベートも大切にしやすい職場だと感じています。



### Career Paths : 部署

**国際部門**  
関係省庁との会議の事務局担当として、連絡・調整の業務に従事。当室や情報コミュニケーション省庁の役割等について理解を深める機会となりました。

▼

**国際部門**  
報告資料を作成する業務へ。質の高い資料を適時に作成することを常に心がけるようにしていましたが、そうした資料作成は、日々の地道な情報収集の上に成り立っていることを学びました。

▼

**他省庁への出向**

**在外勤務**  
我が国近隣地域の国際的な大都市に所在する在外公館で、在留邦人の安全に関する業務に従事。

▼

**他省庁への出向**

▼

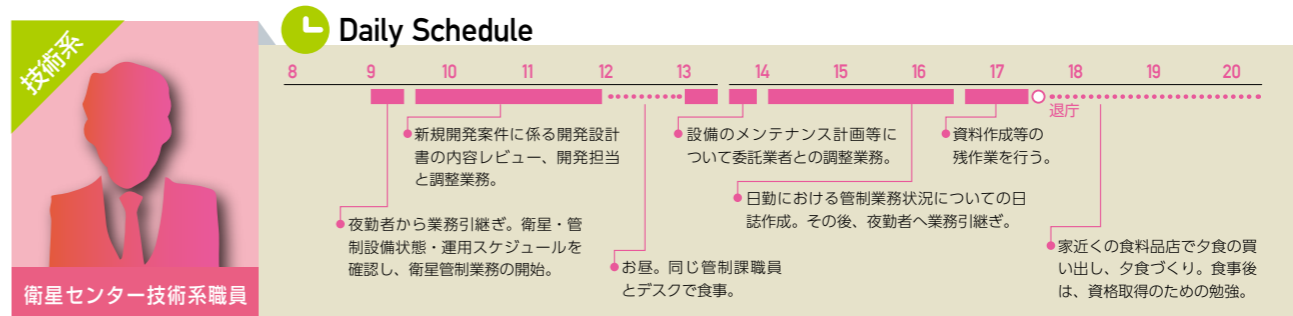
**総務部門**  
当室の幹部職員の秘書業務を担当。現場での連絡・調整に備え用務先にも同行。

▼

**国際部門**  
外国機関と意見交換等を行う担当に。世界の様々な地域の関係機関と緊密に協議を行っており、迅速な報告作成等の実務能力が求められる。多様な背景を持つ関係者を相手に、粘り強く仕事に取り組む姿勢が必要です。

### Life style

日々の様々な業務に加え、海外出張の際は、時差の関係で昼夜なく来る連絡の調整に忙殺されることもあります。そうした中、私が大事にしているのは家族と過ごす時間です。休日には小学生の子供と一緒に遊んだり、家族で色々な事柄について会話をすることを心がけています。そのため、季節が良いときには外でバーベキューをしたり、長期休暇には、家族の趣味をテーマにした旅行を計画したりしています。家族行事を思い切り楽しむことで、オンとオフの切り替えにもなり、それが、仕事を上での原動力になっていると思います。



### 衛星センター技術系職員

### Career Paths : 部署

**内閣衛星情報センター 技術部 管制課**  
1～2年目は地上システムの維持管理を担当。維持管理業務では、委託業者と協力しながら点検計画の立案・実行やシステム不具合対応を所掌します。業務を行う中でデータフローから内閣衛星情報センターでの情報収集業務の流れを学ぶことができましたが、これは現在の開発案件の調整業務といった業務にも役に立っています。その後は管制課に配属され、衛星状態解析業務→軌道保持・デブリ解析業務→衛星運用業務を担当。管制課業務では時に一分一秒を争って衛星状態を把握し、正しい判断をしなければならぬことがあります。そのような業務を若手のうちから経験でき

たことは、将来の大きな武器になると感じています。

**Life style**  
コロナ禍ということもあり休日は妻と2人、家で映画鑑賞等ゆっくり過ごすことが増えました。以前であれば、有給を取得して旅行や登山に行くことも多かったですが、家事等は共働きですが、特に分担せず2人で一緒に協力して行っています。現在の仕事はシフト(夜勤あり)制ですが、夜勤明けの時間も考慮すると家にいる時間が増えたように思います。また、シフトで平日休みの時には、健康維持のため空いている街中をランニングしてみたり、資格試験の

勉強の時間に当てたり、ちょっと凝った料理に挑戦してみたり、と違った楽しみがあり充実したプライベートを過ごしています。

# WORK STYLE

## 若手職員に聞きました

内閣情報調査室では、多くの若手職員が第一線で活躍しています。若手職員の声から、内調で働くあなたのイメージを膨らませてください。

### Q 内調の志望動機は？

- 政策官庁ではないため、客観性のある情報収集・分析・集約ができると思ったから。
- 安全保障の分野は自分に関わっている人全てに貢献できる仕事だと思い、その中でも内調の仕事が一番刺激的かつ様々なことを経験出来そうだと感じたから。
- 出向や在外公館での勤務等、様々な経験を積み機会が他省庁より多いと感じた。

### Q どのような人が内調に向いていると思いますか？

- 様々なことに興味を持てる人。(業務に関係のある興味関心はもちろん大切だが、趣味やこれまでの経験等も含めて、全自分勝負となる場面がある。)
- 作文力がある人、新しいことに取り組むフロンティアスピリッツの持ち主。
- 好奇心旺盛で何事も楽しめる人。
- 人とコミュニケーションをとるのが好きな人。
- 情報機関員として情報保全意識を持っている人。

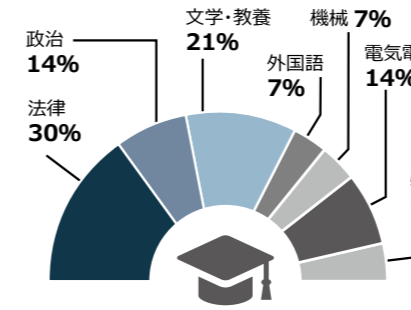
### Q 内調のアピールポイントは？

- やはり官邸との距離感の近さ。(一年目から官邸に行く仕事ができる可能性もある。)
- 少数精鋭、不易流行。
- 業務として扱う対象が拡大し続けている点。国内・国際情勢に加えて、宇宙(衛星)、サイバー、経済安保等々、当室が対象とする領域は拡大し続けており、やってみたいと思える分野が沢山ある。
- 若手のうちからどんどんチャンスが巡ってくる場所。
- 日本のインテリジェンス・コミュニティの結節点として、各省庁から様々な情報が集約されることは内調にしかない強みだと思う。

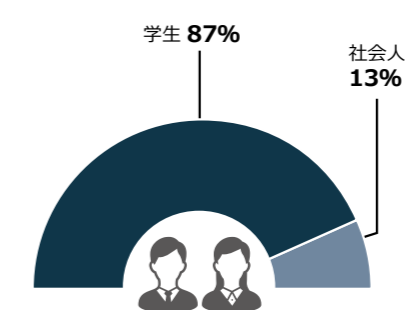
### Q 10年後までに達成したい目標や挑戦してみたいことはありますか？

- 収集、分析、管理各部門を経験した上で、どの部門に配属されても問題ない「オール内調人材」になる。
- 在外公館や海外大学院等今の職場とは全く違う環境に身を置く。
- 複数言語で仕事ができるようになりたい。海外で勤務してみたい。
- 自分の強い分野を見つけたい。それがOSINT、HUMINT等の収集手法についてでも、特定地域の情勢についてでも構わない。

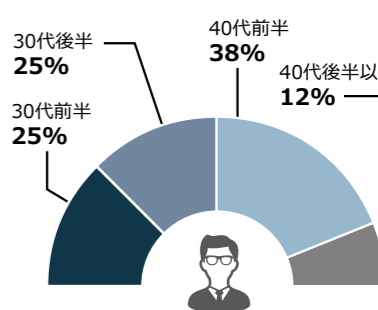
### Q 大学(院)での専攻は？



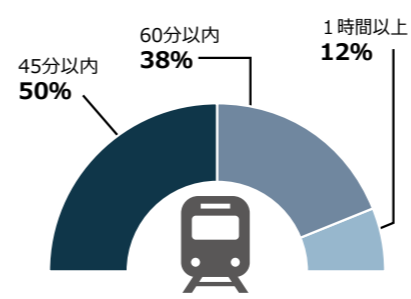
### Q 官庁訪問時の身分は？



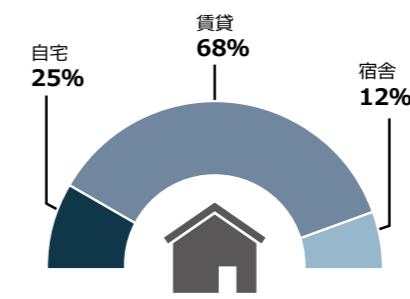
### Q 上司は何歳くらいの人？



### Q 職場までどれくらい？



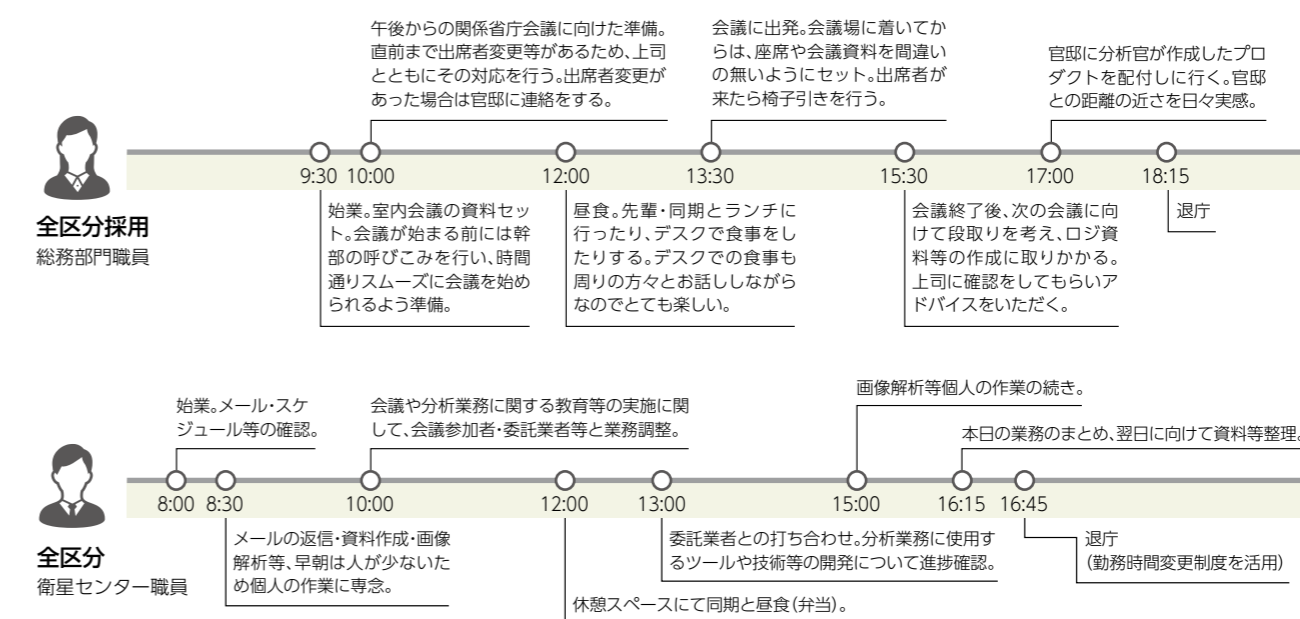
### Q 自宅？賃貸？宿舎？



### Q 退庁時間は？



### Q 若手職員の、ある1日のスケジュールを教えてください

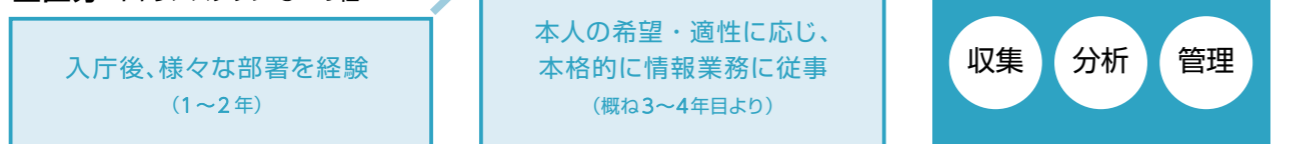


# CAREER STEP

## キャリアステップ

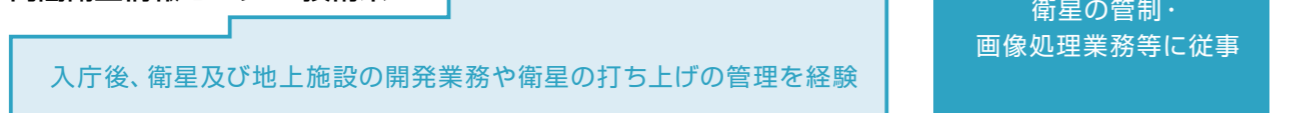
日本の情報コミュニティの柱となる人材の育成を目指し、内閣情報調査室では様々な研修のほか、他省庁への出向、在外公館勤務等、キャリアアップのための豊富な機会を積極的に設けています。多種多様な経験を経て、収集・分析・管理のいずれかの専門家になることを目指しています。

### 全区分 キャリアステップ・3つの柱



室内の部署を一通り経験し、内調職員としての基礎的なスキルを身につけます。

### 内閣衛星情報センター 技術系



### 人材育成・キャリアアップの機会

<h4>新任者研修</h4> <p>新規採用の職員向けに複数回に分けて実施します。秘密保全教育に加え、情報機関の役割、各部門の業務を知ることで、日本の情報体制及び内調の全体像を具体的に把握し、内調の主力となる人材の素地を作ることを目的としています。</p>	<h4>語学習得の支援</h4> <p>語学学校への通学補助や、組織での研修等を行っています。</p>	<h4>他省庁への出向</h4> <p>専門性を強化し行政事務経験を積むため、情報コミュニティ省庁(警察庁、公安調査庁、外務省、防衛省)や内閣府等への出向の機会があります。</p>
<h4>研究員派遣制度</h4> <p>人事院の研修制度(長期在外研究員派遣制度、行政官短期在外研究員等)を活用して、「専門性」に磨きかける機会を設け、職員がスキルアップできる環境を整えています。</p>	<h4>在外公館勤務</h4> <p>内調職員として培った知識・経験を生かして海外で勤務します。在外公館勤務は国外で多様な人々と仕事をする貴重な機会であり、希望する職員には積極的に機会を与えています。</p>	

### 強い意志

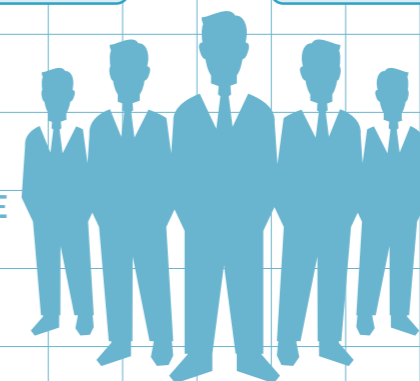
情報収集・分析等のプロフェッショナルとなる「強い意志」

### 視野の広さ

社会全体にアンテナを張り巡らせる「視野の広さ」

### 求める人物像

CABINET INTELLIGENCE and RESEARCH OFFICE



### 粘り強さ

困難な状況にあっても解決策を見いだそうとする「粘り強さ」

### チャレンジ精神

国際・サイバー分野等、世界を舞台にした活躍を目指す「チャレンジ精神」

### Column CAREER STEP

#### 国際テロ情勢の収集業務担当者

海外での「ファーストハンド」の情報収集業務と有事の際の治安・情報機関との迅速な協力の確立、これが国際テロ情報収集ユニット(以下「ユニット」)の任務です。私は現在、各国大使館に勤務する現地担当官と日々やりとりをしながら、海外における情報収集関連業務に携わりつつ、自ら海外に出張に行き、関係機関との協議を行っています。対外インテリジェンスというフィールドを相手にする仕事であり、この仕事でしか知り得ない「秘密」の世界が垣間見え、知的好奇心を満たしてくれます。毎日、常に国外情勢に目を配りながら現地担当

官に対し適時適切に情報関心の付与、現場の活動の支援を行っていくことが求められます。その結果、現地担当官が興味深い情報を収集し、報告を受けた際は非常にやりがいを感じます。時に大変ではありますが、刺激的なものであることは間違いありません。このようにユニットは、まさに「ファーストハンド」の情報を収集する対外インテリジェンスの最前線であり、ここでしかできない仕事ばかりです。国益に直結する海外におけるインテリジェンス活動に興味がある方はぜひ、当室の門をたたいてみてください。

# Work & Life Balance

## 両立支援(ワークライフバランス)制度

内閣情報調査室では、職員のワークライフバランス両立支援を目的とし、以下の制度の推進に取り組んでいます。

### interview

#### かけがえのない「子育て時間」とともに働く

約1年半の産休・育休を経て復職しました。当初は1時間の時短を取得し、現在は30分の時短に切り替えて働いています。

20代の頃は「ワーク」に比重を置かざるを得ない業務を担当し、休日出勤、早朝出勤、タクシー帰りもこなしてきました。ですが、母として家庭に責任が生じた今、「ライフ」との折り合いをつけた働き方を模索する毎日です。保育園に向かう帰途、時間切れで終わった仕事に悔しさを感じる時もあるれば、「お仕事行かないで」と訴える子供に心が揺れる日もあります。私の場合、夫婦ともに地方出身で実家を頼れない状況ですが、理解ある上司や保育園等に恵まれたこと、各種制度を活用できたことが幸いしています。また、自身の希望と環境を考えながら、先を見据えて必要な努力をすることもワークライフバランスには不可欠だと考えます。仕事に邁進した時期があったからこそ、子供との時間を一層大切に過ごせています。制度の利用者も増え、他省庁からの出向者も多い内調は、様々なロールモデルに触れながら自分のキャリアや生き方を考えられる職場であると思います。

### 産休・育休制度

女性職員	産休制度	産前6週間～産後8週間までの期間に取得する
男性職員	「男の産休」制度	配偶者の出産に際し合計7日間の休暇を取得可
全職員	育休制度	子が3歳に達する日までの期間取得可 ※特に男性職員については、生後1年の間に1箇月以上の取得を推奨

### 育児に係る時間短縮制度

保育時間制度	生後1年未満の子を育てる職員（男女問わず）が、1日2回30分ずつ取得可（有給）
育児短時間勤務制度	小学校就学前の子を育てる職員（男女問わず）が、希望する日・時間について取得可

### 各種休暇制度

年次有給休暇（年休）	理由を問わず取得できる休暇。毎年20日ずつ付与され、前年の未使用分は20日まで繰り越し可
特別休暇	用途の定められた休暇。 冠婚葬祭や夏期休暇（3日）等
生理休暇	生理日の就業が著しく困難な場合に取得可
病気休暇（有給）	入院や手術等、私傷病により休まなければならない場合、最長3箇月間取得可（有給）



# Benefits & Recruitment

## 待遇・制度、採用について

内閣官房は原則として各省庁からの出向者で構成されていますが、内閣情報調査室は其中で唯一、独自の定期的採用を行っています。

令和3年度より、インテリジェンス機関としての求心力をより高めるべく、内閣情報調査室は内閣衛星情報センターと採用活動を一本化して実施しています。

### 採用数一覧表 ※（ ）内は女性の数

試験年度	内閣情報調査室	内閣衛星情報センター
令和元年度	12（4）	7（6）
令和2年度	9（3）	6（4）
試験年度	全区分（行政・技術問わず）	内閣衛星情報センター 技術系
令和3年度	7（3）	4（2）
<b>令和4年度</b>	<b>8名程度</b>	<b>6名程度</b>

## Q&A 官庁訪問Q&A

### Q. 採用はどのように決定しているの？

官庁訪問では、1人の学生に対し複数回の面接を行っています。面接は、他省庁の官庁訪問より多いかも知れません。受験者の人柄、企画力、コミュニケーション能力、将来性等を総合的に評価します。

### Q. 技術系の採用は行っていないの？

技術系区分についても積極的に採用を行っています。令和4年度は、行政系・技術系全体で10名程度の採用を考えており、技術系区分は〇人まで、という制限もございません。技術系の全区分で受験可能ですので、ご興味のある方はぜひ官庁訪問にお越しください。

### Q. 語学力はどれくらい求められますか？

当室では、国際関係業務は拡大傾向にあり、採用後の業務においても語学力が要求されることがあります。しかし、官庁訪問時に必ずしも高い語学力を有している必要はありません。自信がなくとも積極的に挑戦いただければと思います。ただ、国際関係業務を志望する方は、採用後に身につけようとする意志は持って欲しいと思います。

### Q. これまでの採用実績は？

例年10名以上採用しています。公務員削減傾向にある中、業務の重要性から、順調に採用を継続しており、本年度も国家公務員一般職（大卒程度）からの採用を予定しています。

### 初任給（令和3年度現在）

一般職（大卒程度試験）合格の場合  
行政職（一）1級25号俸 225,840円  
（地域手当、本府省業務調整手当含む）  
※大学院卒、社会人経験のある方は俸給月額が加算されます。

### 賞与（ボーナス）

期末手当、勤勉手当として、年間4.50月分

### 諸手当

扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当等

### 勤務地

内閣府本府庁舎（東京都千代田区永田町1-6-1）・在外公館等

### 勤務時間

原則 9：30～18：15  
（勤務時間変更制度活用可）

### 休日

年次有給休暇 20日間  
（4月採用者は、その年の12月まで15日間）  
特別休暇（夏季、結婚、忌引等）  
※仕事と育児・介護の両立を支援する制度があります。

### 福利厚生

- 共済組合制度（医療費の給付、診療所、契約施設（保養所等）の補助）
- グループ保険制度（団体保険、団体積立）
- 診療所（内科、歯科）
- 定期健康診断
- 人間ドック



# Application Process

## 2022年度採用スケジュール

- Step 1** 3月18日～4月4日 国家公務員採用一般職試験(大卒程度)受付期間
- Step 2** 6月12日 第一次試験日
- Step 3** 7月6日 第一次試験合格発表／官庁訪問予約受付開始
- Step 4** 7月8日 官庁訪問開始
- Step 5** 7月13日～29日 第二次試験(人物試験)日
- Step 6** 8月16日 最終合格発表日
- Step 7** 10月1日 採用内定

### message

#### 採用担当者から 皆さんへ



新型コロナに目を奪われがちですが、世界では大国間の競争がますます激しくなっており、日本の安全保障環境も年々厳しくなっています。世界がどのように変化しようとも、例えば、日本が平和な時代であろうと、緊迫する時代であろうと、私たち情報機関は日本の安全を守るために常に最前線に立っています。

急速に世界の構図が変化している中、私たち内調はバイタリティに富んだ世界で活躍できるインテリジェンス・オフィサーを必要としています。

世界で活躍という、自分にできるのかと引いてしまうかもしれませんが、最初からできる人はいません。皆、スタートラインは一緒です。現時点で何ができるのかではなく、インテリジェンスの世界に関心を持ち、自分もチャレンジしたい、黒子として見えない世界で日本の安全保障に貢献したいという気持ちを持った人を求めています。

就活も、情報の収集と分析が重要です。オンライン説明会も便利ですが、“百聞は一見に如かず”です。可能な限り職員に会って仕事や職場の雰囲気を掴んでください。

#### 内閣情報調査室の 説明会情報

内調採用ホームページを御確認ください。  
[https://www.cas.go.jp/jp/saiyou/saiyou\\_index.html](https://www.cas.go.jp/jp/saiyou/saiyou_index.html)

#### 連絡先

内調情報調査室 採用専用TEL：03-5253-2107  
 内閣衛星情報センター 採用専用TEL：03-3267-9564



# Our History

## 内閣情報調査室の歴史

内閣情報調査室は、戦後、我が国が国際社会の荒波に耐えうるよう、旧総理大臣官邸の小さな一室で産声をあげました。着実に発展の道を歩み、年々組織の重要性が高まっています。

### Beginnings 1952

- 昭和27年4月9日 第3次吉田内閣 内閣総理大臣官房調査室 (総理府の組織として新設)
- 昭和32年8月1日 第1次岸内閣 内閣調査室 (組織変更により内閣官房に)
- 昭和61年7月1日 第2次中曽根内閣 「合同情報会議」を設置 内閣情報調査室 (内閣官房の組織再編により名称が変更)
- 平成8年5月11日 第1次橋本内閣 「内閣情報集約センター」を設置 (緊急な重要情報を24時間体制で収集し、内閣総理大臣等へ報告する)
- 平成10年10月27日・12月22日 小淵内閣 「内閣情報会議」を設置 情報収集衛星の導入について閣議決定
- 平成13年1月6日 第2次森内閣 内閣情報官を設置 (中央省庁再編に伴い内閣情報調査室長から格上げ)
- 平成13年4月1日 第2次森内閣 内閣衛星情報センターを設置 (情報収集衛星の開発・運用、画像情報の収集・分析)
- 平成20年4月1日 福田内閣 カウンターインテリジェンス・センターを設置 (外国の情報機関による情報収集活動から我が国の重要な情報や職員等を保護) 内閣情報分析官を設置 (特定の地域または分野に関する特に高度な分析)
- 平成26年12月10日 第2次安倍内閣 「特定秘密の保護に関する法律」の施行 (内閣情報調査室が特定秘密の保護に関する企画及び立案並びに総合調整事務を所掌)
- 平成27年12月8日 第3次安倍内閣 国際テロ情報の集約「国際テロ情報集約室」を設置 (国際テロ情報の集約、国際テロ情報の収集調査に関する連絡調整)
- 平成30年8月1日 第3次安倍内閣 国際テロ情報集約室に「国際テロ対策等情報共有センター (現：国際テロ対策・経済安全保障等情報共有センター)」を設置 (内調を含む関係11省庁と連携し、テロ情報の共有・分析を行う)